

雲北陵月報

No. 402

平成31年2月28日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



贈る言葉

学年主任 春日 啓伸

ご卒業おめでとうございます。
3年前の春に、少し大きな制服に身を包み、緊張しながらも希望に満ちた目で入学式に臨んだ様子が、ついこの前のことのように感じます。

この3年間、皆さんは学業や部活動あるいは個々の活動に大きく活躍されてきました。部活動では、県の代表として中国大会や全国大会に出場し、輝かしい成果を残されました。進路に関しては、7割以上の方が進学され、就職においては年内に内定を100%いただくことができました。

皆さんが本校で過ごした3年間は、僅かな月日だったかもしれませんが、かけがえのない思い出となったことでしょう。

これから皆さんは社会人として巣立っていきます。環境が変わり、決して甘くはない厳しい現実が待っていることでしょう。そこで、私の好きな言葉を贈ります。

『なにごとのおはしますかは知らねどかたじけなさに涙こぼるる』

この歌は平安時代末期のある歌人の歌です。

これからの人生は、恐らく経験したことのない様々な現実が待ち受けていることでしょう。楽しいことばかりではなく、辛い苦しいこと、悲しみに暮れること、知らぬ間に人を悲しませてしまうこともあるかも知れません。それでも皆さんは、迷いつつも軌道修正しながらしつかり前を向いて歩まねばなりません。ただ、そんな時でも、誰かがあなたを快く受け止め、いつもそばで見守ってくれている人がいるに違いありません。それはきっと家族であり友であるかも知れません。でもそう感じられるだけで、涙がこぼれるほど有難いことなのです。この歌は、そんな意味も含んだ歌です。

卒業生の皆さん、今日まであなた方を見守ってきたご家族、良き友人への感謝の気持ちを忘れずに大切に日々を過ごしてください。
卒業生の皆さんの更なるご活躍とご多幸をお祈り致します。

贈る言葉

三年一組担任

椿 英史



卒業おめでとうございます。
高校生活の3年間はとても短い年月であつたと思います。皆さんが日々成長をしていく姿が見れないと思うと寂しさも感じます。1組の生徒はいつも明るく元気な姿をみせてくれました。皆さんからもらった元気のお蔭で、3年間担任を頑張ることができたと感じています。

これから皆さんは、多くの人との出会いがあると思います。職場の先輩や学校の先生、先輩など、今までとは違った環境で多くの方々を支えられて生活をしていくことになると思います。その人達から多くのことを学び、日々成長をして欲しいと思います。これから自分で考え、判断し行動していくことが大事になっていきます。失敗を恐れず、人間力を高めるために様々な挑戦をして欲しいです。

『出会いを大切に・学ぶ姿勢を忘れない・感謝の気持ち』
これからの皆さんのご活躍を心から祈っています。

新たな一歩

三年二組担任

畑 宗一郎



皆さんが1年生のときから担任をさせてもらって、3年の月日が経とうとしています。3年2組というとても小さな社会の中で、皆さんは何を得たでしょうか。これから先、皆さんが飛び込んでいくのは、とても大きな社会です。その社会の中で壁におつかった時、HRや授業中にした雑談や余談、2組で生活して感じたこと、考えたことが何か少しでも壁を乗り越えるヒントになることだと思います。

これから先、私はもう口うるさく言うことができません。ですから皆さんの活躍を期待してそつと見守っておくことにします。初めての担任が皆さんで良かった。また元気な姿を見せてください。私も皆さんと一緒に新たな一歩を踏み出すことにします。

3年3組の皆さんへ

三年三組担任

村上 学



2年間の付き合いでしたが、正直言うと大変なことが多かったクラスです。クラスで起きた問題は、担任である僕の責任でもありますが、数々の困難と問題に直面してきましたが、ようやくゴールが見えてきました。そこで、皆さんにこの言葉を贈りたいと思います。

『夜明け前が一番暗い』

生きていると、先行きが真つ暗に感じる日があります。しかし、辺りが暗いからこそ、わずかな光にも敏感になり、見えてくる希望があります。また、皆さんがこうして生きているのは、両親をはじめ、週、数え切れないほどのご先祖様が命をつないできてくれたからです。皆さんも、どんなことがあっても、投げやりにならずに自分の人生を誠実に生きてください。2年間どうも有難う。

4組のみんなへ

三年四組担任

西村 かおり



ご卒業おめでとうございます。

皆さんを担任することになってから早くも2年が経ちます。4組はとても素直で、何事にも一生懸命に取り組むことができる素晴らしいクラスです。皆さんと過ごしていると、いつもそう感じ、私もそうありたいと思います。

この高校3年間の様々な経験を通して、心身ともに大きく成長したのではないでしようか。これからいろいろな場面面で、困難なことに直面することもあるでしょう。そんなときは、素直な心と謙虚な姿勢で、また周囲への感謝の気持ちを忘れずに一歩ずつしっかりと進んでいってください。信じています。また、いつか皆さんに会える日を楽しみにしています。

喜びの共有をありがとう

三年五組担任
岩成 俊策

先日、ラジオで流れてきた歌の歌詞に耳が止まりました。「喜びを 誰かと 分かち合うのが人生さ」。声の主はサザンオールスターズの桑田佳祐。これは当代一の人々に捧げた、普遍的なメッセージではないでしょうか。いかに財をなし、社会的に高い地位を得ても、誰とも喜びを分かち合えない人生は貧しいと思います。

この2年間、辛いこともたくさんありましたが、5組の皆さんと喜びを共有できたことは私の人生の何よりの宝になりました。皆さんのお蔭で少しはましな人間になった気がします。本当に有難う。

贈る言葉

三年六組担任
多々納厚比古

卒業おめでとうございます。1年生から3年生までの3年間担任をさせてもらい、皆さんには感謝の気持ちで一杯です。

この3年間はどうか？何か夢中になれるようなものを見つけて追いかけて続けることができたか？何かに没頭してやりがいを見つけたことは、本当に幸せなことだと思います。皆さんはそれをやり切ったのではないかなと感じています。今後、節目節目を迎える度に、新しい環境に進んでいかなければなりません。高校3年間のよう思いっきり打ち込むものを見つけて、自分を追い込んでください！

私は皆さんとの3年間でいろんなことを学び、経験し、挑戦することで毎日たくさん刺激を感じ、皆さんと同じように私も成長することができました。本当に有難う。

卓球部

第46回全国高等学校卓球大会中国地区予選会
中国選抜2年連続3回目の優勝！
全国選抜出場決定！

時 2月1～3日
於 山口県維新百年記念公園スポーツ文化センター

【男子団体】

本校	3-0	近大福山(広島)
本校	3-0	宇部工業(山口)
本校	3-0	倉敷工業(岡山)
本校	3-0	松徳学院(鳥根)
本校	3-0	鳥取敬愛(鳥取)
本校	3-0	広島商業(広島)
本校	3-1	関西(岡山)

○大会総評

昨年度優勝校としてのプレッシャーが重くのしかかる中、主将の山本を中心としたチームワークで難局を乗り越えることができた。特に山場と考えていた関西戦で、本校らしい粘り強い試合ができたことは今後の自信に繋がる。

遠路会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の方々の温かいご声援有難うございました。(顧問 古瀬泰之)



女子バスケットボール部

中国高等学校バスケットボール新人大会

時 2月8～10日
於 維新百年記念公園スポーツ文化公園体育館

1回戦 本校 81-88 清水ヶ丘(広島)
○大会総評

序盤からハイペースな点の取り合いで、前半35-33のリードで折り返した。第3ピリオド、疲れからか徐々にシュ-

トミスやバスマミスで逆転を許し、敗戦となっていました。

応援いただいた方々に感謝申しあげます。(顧問 篠原勝利)

サッカー部

平成30年度高校サッカー新人大会

時 2月2日
於 真幸ヶ丘公園

1回戦 本校 1-2 出雲西
○大会総評

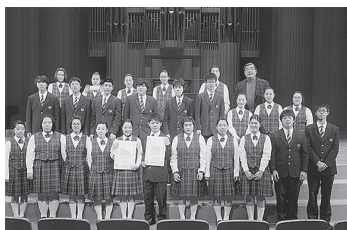
後半終了間際まで1-0でリードしていただけに本場に悔しい敗戦となった。結果に対して悔しい気持ちで一杯である。チームとしての完成度を更に仕上げるためにも、次の大会に向けてしっかりと鍛えていきたい。(顧問 松井仁志)

合唱部

第30回松江プラバ室内合唱コンクール

時 2月3日
於 松江市総合文化センタープラバホール

3年生が引退し、新メンバーによる初のコンクールであった。今年から規定が変わり同じ部門に1校から複数団体出場ができるようになった。それにより高等学校混声合唱部門に本校は2団体出場した。1団体は11名、自由曲は外国曲。もう1団体は14名、自由曲は日本曲を演奏した。少人数による合唱は一人ひとりの力量が試される。良く練習して演奏したが、両団体とも優良賞だった。更なる演奏の向上を目指し、日々練習に励みたく。(顧問 石橋久和)



吹奏楽部

第42回全日本アンサンブルコンテスト中国大会

時 2月3日
於 広島文化学園HBGホール大ホール

本校からは、左記の2チームが出場した。2チームとも素晴らしい演奏を披露し、会場を魅了した。

惜しくも、あと一歩のところまで全国大会出場は叶わなかったが、両チームとも金賞を受賞することができた。またそれ以上に、大変貴重な経験をすることができた。

この貴重な経験を糧に、更にレベルの高い演奏、そして皆様に愛されるバンドを目指し、日々精進していきたい。引き続きご支援ご声援のほどよろしくお願い致します。(顧問 竹内康貴)

・木管3重奏 金賞

・ダイベルティメント/M.アーノルド

・金管8重奏 金賞

第7旋法によるカンツォン 第2番
/G. ガブリエリ

出雲北陵高等学校 音楽コース
第26回 卒業演奏会

時 2月23日
於 ビッグハート出雲 白のホール

音楽コース26期生12名による卒業演奏会を開催した。生徒達はそれぞれ各専攻の先生の指導の下で積み上げた実力を見事に発揮し、3年間の集大成となる見事な演奏を披露した。

ここに至るまで様々な形でご支援、ご声援を賜りました保護者の皆様をはじめ、各専攻の先生方、地域の皆様、ご来場いただきました皆様、関係者の皆様から感謝申しあげます。



美術・CGデザインコース 第18回出雲北陵高校卒業制作展

時 2月2・3日
於 出雲文化伝承館

美術・CGデザインコースと特別進学コース美術専攻の3年間の集大成である卒業制作展が出雲文化伝承館で行われた。会期中は雨模様のあいにくの天候であったが、135人の来場者があり大変嬉しく思った。本年は「Non Stop」をテーマに、それぞれの個性を生かしながら制作、運営・広報に1年かけて準備してきた。会場は見やすく上品な雰囲気の中、個性あふれる作品が並び、爽やかな良い展覧会となった。

今後はそれぞれの進路に進んでいくが、この3年間の糧に将来へ向かって走り続けてくれることを期待している。開催にあたり、ご支援いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

(コース主任 飯塚康弘)



看護体験

先日、普通コース看護医療系列の授業の一環として、鳥根県立大学出雲キャンパスの看護科の施設をお借りし、看護体験の授業が行われた。看護医療系列を選択した生徒7名が、県立大学の先生から講義をしていただいたり、ベッドメイキングなどの実習を体験し、貴重な経験をすることができた。

生徒一人ひとりが、この看護体験学習を通して、成長してくれたことと思う。



ベッドメイキングの実習風景

卒業直前講座

時 2月12日・19日
於 本校黎明ホール

卒業を間近に控えた3年生が、今年も卒業直前講座を受講した。まず12日には、出雲警察署生活安全課の藤井睦先生から薬物の怖さを、島根県消費者センター遠藤紀子先生からはネットトラブルの対処法などについてお話いただいた。

また19日には、中村清志先生から「世の中には二種類の人間がいる」の演題で、人間の命や生き方についてお話していただいた。



新しい門出を迎える3年生にとって、大切な知識を学ぶ時間となった。お世話になった先生方に厚くお礼申し上げます。

(3年主任 春日啓伸)

中学校

卓球部

第12回中国中学校選抜卓球大会

時 2月2・3日
於 山陽小野田市民体育館

(男子団体)
予選リーグ 3勝0敗
決勝リーグ 6勝1敗
2位

○大会総評
昨年に続いての優勝とはならなかったものの、随所に練習の成果を発揮したプレーが見られた。3月の全国大会で上位進出できるように、練習へ励んでいきたい。

(顧問 相場翔太)

女子バスケットボール部

第28回出雲市中学生招待バスケットボール大会

時 2月3日
於 出雲二中体育館

一回戦 本校 78-27 浜山・向陽中
準決勝 本校 64-30 出雲二中
決勝 本校 54-45 河南中

優勝

○大会総評

この大会には、特にディフェンスを意識して臨んだが、結果として優勝できて良かった。まだまだ課題があるので、一つひとつ丁寧に取り組んでいきたい。

(顧問 三島圭一朗)



中学二年生スキー研修

時 2月7日
於 琴引フォレストパーク

本年度も中学2年生を対象にスキー研修を実施した。大自然の雄大さを満喫すること、スキーの基礎的な技術の習得・向上に励むこと、集団行動の中で互いに協力することを目的とした行事である。

当日は、雪も少ないうえに、雨も降るあいにくの状況であったが、生徒は一生懸命に取り組んだ。



第4回 合同道徳

時 2月4日

今年度最後となる合同道徳を実施した。今回は、菅田修司教頭が「自分を受け入れ豊かにする」と題し、人との関わり方や自分自身を好きになることの大切さを生徒に伝えた。



NIE教育 冬季セミナーでの発表

時 2月23日
於 山陰中央新報製作センター

本校は、28年からNIE教育の指定校となり3年目を迎え、新聞を活用した教育を実践している。10月11月まで7社の新聞が毎朝配達され、新聞台を設置し、いつでも自由に新聞を読める環境をつくることにも、図書・学習ルームで読み比べることができるようになっている。

セミナーでは県内の小中学校、高校の実践指定校8校の教員が1年間の成果を発表した。本校の取り組みとしては、1年生のふるさと学習での新聞教室や新聞作りについて発表した。各校の発表を聞くことで、新聞で教育の質を高める方法について理解を深めることができた。



作品と研究

「礼法を学んで」

「礼法」は、学校生活や日常生活で必要な礼儀作法を学ぶ本校独自の教科です。顧問の水谷千枝子先生や担当の教員の話聞き考えを深めたり、様々な実習を通して作法を身につけたりしています。

西 航大 (1・2 年)

礼法を学んで思ったのは相手の気持ち分かるようになったことです。礼法は相手に迷惑をかけないことが大切なので普段から気をつかうようにしました。今までの自分は、知らない間に相手に迷惑をかけることが多々ありましたが、そういうことも少なくなりました。

授業で印象に残ったことは、水谷千枝子先生が話をされた「あけましてお芽出とうございます」という言葉です。これは、創立者の水谷キワ先生を尊敬されていた方が、千枝子先生に送られた年賀状の言葉です。「新しく年を越せておめでとうございます。今年は昨年とは違ったことにチャレンジして、昨年とは違う自分(芽)を出してください」という意味だそうです。この話に共感もてた私は、新しいことにチャレンジしたいと思います。

山腰 洋平 (1・2 年)

私は、礼法を、初めは普通の授業として受けていましたが、基本的な礼儀

作法だけでなく、どういう気持ちで生活をすれば良いかということをおぼくができました。

その中でも、「挨拶」について学んだことが、一番役立っています。以前は、ぼそぼそと適当に言っていたことも細かいところまで意識できるようになり、その日の生活にも良い影響が出てきました。

また、水谷千枝子先生からは、授業前に行く黙想の由来について聞くこともできました。昔の生徒が自主的に始めたということが印象に残っています。黙想の意味と自主性の大切さを学びました。私は自主的に行動する部分が欠けているので、小さなことから始めていきたいです。

三成 麻琴 (1・3 年)

私は礼法の授業で、実習が多いことに驚きました。一番難しかったことは、「賞状の受け方」でした。特に正式受賞は動作が多く、足を引くときや体の向きを変えるときに、「右からか、左からか」という点でよく迷いました。そして、来賓や職員席に行く礼も、他の動作と一緒にすると正しい礼の仕方を忘れてしまい難しかったです。

授業では、先生方がいろいろな話をしてくださいます。その時に、「礼法」という教科は本校の創立者の水谷キワ先生が作られた伝統あるもので、それが今も続いていることを知り、素晴らしいなと思いました。その伝統ある教科で学んだ作法を、生活に生かせるようにしたいと思っています。

古川 裕太 (1・4 年)

私はこの一年間礼法を学んで良かったことがたくさんありました。まず、最初にしたことは椅子の腰かけ方でした。自分でも分かっていると思っていました。実際にしてみると足を動かす順番があつたり、座ったときの姿勢だったり細かな作法があることを知りました。その他に、礼の仕方、服のたたみ方、戸の開閉、受賞の仕方などを実習しながら学ぶことが多く、とても分かりやすかったです。

授業の終わりの方で、学校の歴史や先生方が体験されたこと、将来に必要なことなどを話してくださいました。学んだことは確実に役立つ重要なことなので忘れないようにしたいです。

田島 陽菜 (1・5 年)

「礼法」の授業では、今までの生活で特に意識していなかったことを細かく教わったり、先生方の貴重な話を聞いたりしました。特に、心に残ったのは「戦争」の話です。当時、千枝子先生が住んでおられた東京から島根に帰られるときは、その場の光景をイメージできるくらい鮮明に話されました。こういう話を聞いたり、人としての生き方が学べるのは礼法の授業だけなので、一つひとつの授業がとても貴重です。

それから、普段何気なく行っている動作も丁寧に教わりました。その中の一つに礼の仕方があります。礼くらい教えてもらわなくてもできると思っていたのですが、私が今までできていたのは正しくありませんでした。それからは

授業の始めと終わりの号令でいつも正しい礼をしています。

田部 愛華 (1・6 年)

一月十六日は、創立者の水谷キワ先生の命日でした。今、私は自分が学びたい美術を美術・CGデザインコースで学んでいます。創立者である水谷キワ先生のお蔭で本校に通えることを本当に感謝しています。

授業では作法を含めたくさんの方を学び、自分自身の考え方や行動を振り返ることができました。特に相手の気持ちを尊重する重要性を知りました。たとえば、物を渡すとき、相手が受け取りやすいようにすることは、相手が一番に考える優しさ、思いやりがあつてこそできることです。

また、自分をよく知ること大切だと分かりました。高校に入学してからは、学習や部活動を通して新たな自分の一面を知ることができました。これからも、物事に積極的に取り組み自分を成長させていきたいです。

今月の
1 枚

「面影」

吾郷 眞菜 (2・2 年)

